

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR B 作業班(第19回)

議事要旨【電子メールによる検討】

日時【電子メールでの開催期間】：令和2年10月13日(火)～令和2年10月23日(金)

場所【検討手段】：電子メールを用いてメーリングリスト上で検討

出席者【参加者】(敬称略)：

(構成員)

主任	久保田 文人	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 参与
主任代理	川崎 邦弘	(公財)鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部 部長
	塚原 仁	(一財)日本品質保証機構 試験部電磁環境試験課
構成員	井上 博史	(一社)日本電機工業会 技術戦略推進部 重電・産業技術課
	井上 正弘	(株)トーキンEMCエンジニアリング EMC テクニカルセンター
	江頭 慶三	東日本旅客鉄道(株) 電気ネットワーク部通信ネットワークG 課長
	尾崎 覚	富士電機(株) パワエレシステム事業本部社会ソリューション事業部 技師 長
	笠井 昭俊	超音波工業会 技術委員会
	梶原 英樹	(一財)日本品質保証機構 安全電磁センター試験部電磁環境試験課 主幹
	加藤 千早	(一財)電波技術協会 常務理事 調査研究部長
	金子 裕良	(一社)日本溶接協会 電気溶接機部会アーク溶接機小委員会 委員
	橘高 大造	(一社)電波産業会 研究開発本部電磁環境グループ 主任研究員
	木下 正亨	(一社)電子情報技術産業協会 ISM EMC 専門委員会
	栗原 治弥	(株)牧野フライス製作所 EDM 開発本部開発部開発課プロジェクト3 担当 課長
	田島 公博	NTT アドバンステクノロジー(株) グローバル事業本部環境ビジネスユニット EMC センタ リーダ (主席技師)
	田邊 一夫	日本大学 理工学部電子工学科 教授
	中村 一城	(公財)鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部ネットワーク・通信研究 室 室長
	橋本 明記	日本放送協会 技術局送受信技術センター企画部 副部長
	平野 知	(一社)日本医療機器産業連合会 EMC 分科会 副主査
	松波 聖文	日本無線(株) ソリューション事業部 企画推進部 事業開発グループ
	三浦 信佳	電気興業(株) 高周波統括部 技術部 電機技術課 主任
	三塚 展幸	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 松戸試験所電磁環境・較正事業 本部電磁環境試験部試験グループ 主任技師
	峯松 育弥	(一社)KEC 関西電子工業振興センター 試験事業部 EMC・安全技術グループ

	宮島 清富	(一財)電力中央研究所 電力技術研究所雷・電磁環境領域
	村上 直弘	電気事業連合会 情報通信部副部長
	山中 幸雄	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所電磁環境研究室 マネージャー
	山本 和博	(一財)電気安全環境研究所 関西事業所
	山本 義和	(一社)日本電機工業会 電子レンジ技術専門委員会
	吉岡 康哉	富士電機(株) 技術開発本部 デジタルイノベーション研究所 デジタルプラットフォームセンター システム制御研究部
オブザーバ	徳田 寛和	富士電機ヨーロッパ社 European Research and Technical Center マネージャー
関係者	雨宮 不二雄	(一財)VCCI 協会 技術アドバイザー
	野島 昭彦	トヨタ自動車(株) 電子制御基盤技術部電波実験室 技範

(事務局)

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課

【配付資料】

資料 19-1	CISPR B作業班(第18回)議事要旨(案)
資料 19-2-1	CISPR B小委員会 WG1 電子会議審議結果
資料 19-2-2	CISPR B小委員会 WG7 電子会議審議結果
資料 19-2-3	CISPR B小委員会 AHG4 電子会議審議結果
資料 19-3-1	CISPR B小委員会 第1作業班(WG1) 対処方針(案)
資料 19-3-2	CISPR B小委員会 第7作業班(WG7) 対処方針(案)
資料 19-4-1	電波利用環境委員会報告概要(案)(B小委員会関連)
資料 19-4-2	電波利用環境委員会報告(案)(B小委員会関連)
参考資料 19-1	CISPR B作業班 構成員名簿

議事要旨

(1) 前回議事録の確認について

特段意見なし。

(2) CISPR B小委員会 WG1、WG7 及び AHG4 電子会議審議結果

議論の内容は以下の通り。

○井上 博史構成員から、「資料 19-2-1 CISPR B小委員会 WG1 電子会議審議結果」について、

「1. 開会」の出席者から井上（JEMA）を削除し、「6.2.5 Fragment f6: Requirements above 1 GHz, for Group 1 equipment」のFSOATSの誤記を修正すべきとの意見があった。

・修正済み。

（3）CISPR B小委員会 関連会議等 対処方針（案）について

議論の内容は以下の通り。

○三塚構成員から、「資料 19-3-2 WG7 対処方針（案）」の「6.2.5 前回審議」において、Ambient noiseの除外手順について次回会合で紹介するとあるが、紹介する旨の記載が必要ではないかとの意見があった。

・田島構成員より寄書を準備する旨の回答があった。

○三塚構成員から、CIS/H/401/CDVにおいてCMADの使用は過小評価につながるため使用しないとなり、本CDVは賛成可決されておりIS化される予定である。CISPR 11においても、放射妨害測定図にCMADが記載されているため審議すべきとの意見があった。

・久保田主任より、現在共通規格CISPR 16-2-3に既定がある一方で、CISPR 32ではCMADを使用すると過小評価になる可能性がある点を問題視し今後は使わない方向で審議されている。またCISPR HはCISPR Aヘリエゾン（CIS/H/422/INF）を送り、CISPR Iとの調整を促している。今回のWG1会議の対処方針のなかでは、「6.1 Fragment f2: Miscellaneous, definition and annexes」に含まれ得る事項だが、各国NCからのコメントでは、カナダからCMADの使用に関して若干のコメント出されている。ただその内容はCISPR Iが問題視していることとは違う内容であり、他のNCからCMADに関連するコメントは出していない。このような現状から、B作業班としてはこのタイミングではCISPR AとCISPR Iとの調整を待つことが適切と考え、本件に関する可能性のあるFragment f2への対処方針は特に修正することなく、議論を聞いて適切に対応することとしたいとの回答があった。

（4）電波利用環境委員会 報告書(案)について

議論の内容は以下の通り。

○井上 正弘構成員から、「資料 19-4-1 電波利用環境委員会報告概要(案) (B小委員会関連)」について、「RRT」、「In situ」、「defined site」の用語は専門家以外の方にはわかりにくいと思われるため、それぞれ（Round Robin Test）、（設置場所）、（最終設置場所以外）を追記し、また、新型コロナは“Covit”ではなく“COVID-19”が一般的であるとの指摘があった。

・修正済み。

（5）その他

特段意見なし。

以上